



# RSウイルス

60歳 過ぎたら

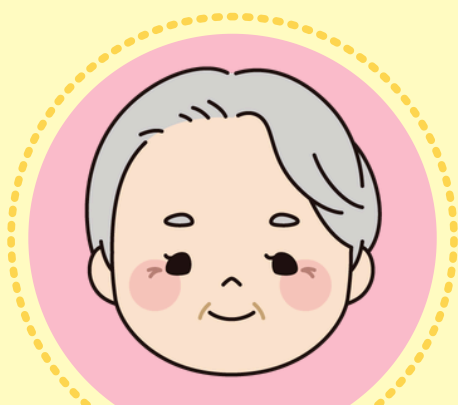
## 感染症にご注意ください

RSウイルスは、発熱、鼻水、咳など、軽い風邪症状から、肺炎など重い呼吸器感染症まで引き起こします。ワクチン接種により、重症化リスクを低減することが期待できます。

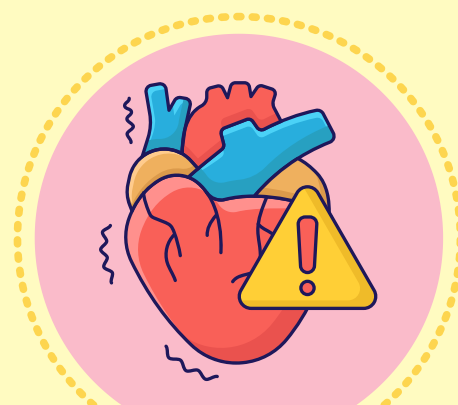
### RSウイルス感染症ワクチン接種をおすすめする方

RSウイルスは乳幼児だけの感染症ではありません。60歳以上で下記項目に当てはまる方は、肺炎などを起こし重症化する可能性があります。

また「喘息」「COPD」「心不全」「冠動脈疾患」「糖尿病」。これらの基礎疾患がある人は、RSウイルス感染症による入院リスクが高くなることが報告されています。



60歳以上



心疾患



腎疾患  
透析治療中



呼吸器疾患

### 大人が感染するとどのくらい大変なの？

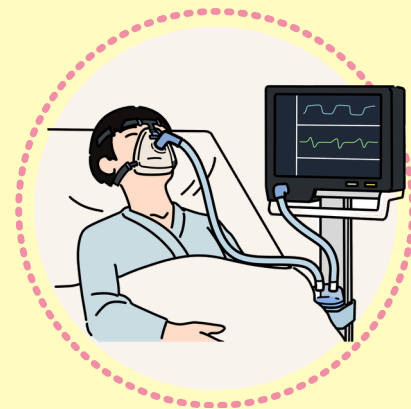
60歳以上のRSウイルスによる入院患者では、インフルエンザによる入院患者と比較して、死亡及び再入院のリスクが高かったと報告されています。

※RSウイルス感染症または、インフルエンザで肺炎になった人の入院日数（平均値）

RSウイルス感染症  
関連肺炎

30.0日

入院期間は約2倍



インフルエンザ  
関連肺炎

15.2日

■ 費用：自費 29,700円（※助成なし／国の推奨あり）

■ 接種上の注意事項

ご予約の15分前にご来院ください。接種後は30分程度、院内で待機をお願いします。

37.5℃以上の発熱がある場合は接種できません。30分以上の遅刻はキャンセル扱いとなり、予約日3日前よりキャンセル料が発生します。予診票はご記入のうえご持参ください。

変更・キャンセルはお電話でご連絡ください。※本ワクチンは感染を完全に防ぐものではありません。



お問い合わせはこちら  
※1F総合受付、又は右記番号へ

☎03-5654-7012

IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明芳会  
イムス東京葛飾総合病院